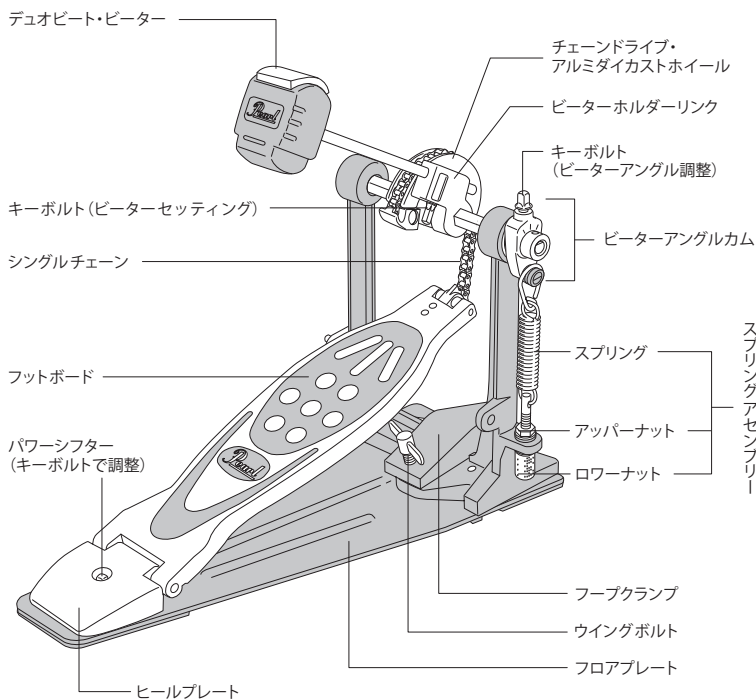


PEARL DRUM PEDAL

P-120P

取扱説明書

この度は、P-120Pドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧ください。

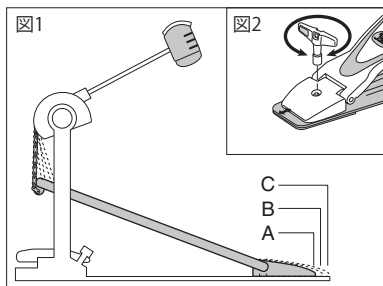


“パワーシフター”

アクション・アジャストメントシステム

ヒールプレートのキーボルトをゆるめ、フットボードを前後にスライドさせることにより、フットボードのポジションを 3通りに設定することができる、画期的なメカニズム。A、B、Cのいずれかの位置を選び、キーボルトで固定します。それぞれ異なるアクションが楽しめますので、ぜひお試しください(図1,2)。

- A. 踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みこたえのあるポジション。
- B. 素直なアクションが得られるノーマルポジション。
- C. スピーディーなフットワークに対応するポジション。



デュオビート・ビーター

スタンダードなフェルト(A)とハードな樹脂(B)の2タイプの素材を使い、それぞれ異なる形状をもたせたビーター。サウンドの違いをぜひお試しください(図3)。



図3

ビーター面	A	B
表面素材	フェルト	プラスチック
サウンド	丸く太いアタック	ハードで太いアタック

セッティングの際は、ビーターシャフトをビーターホルダーリンクに差し込み、好みのポジションが決まったらキーボルトで固定します(図4)。

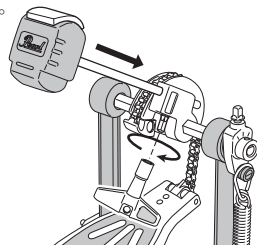


図4

ビーターアングルの調整

ビーターアングルカムのキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えることなくビーターの角度を無段階に調整することができます。好みのビーターアングルが決まったら再びキーボルトで固定します(図5)。

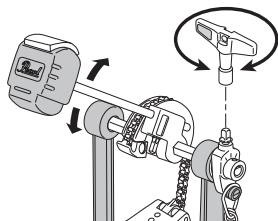


図5

スプリング・テンションの調整

スプリングのテンションを強くしたい場合には、アッパーナットをゆるめてからローナットを締めめます。弱くしたい場合には、それとは逆の手順で行います。

このシステムは、調整後のゆるみを防ぐためのダブルナット方式ですので、双方のナットを十分に締めてお使い下さい(図6)。

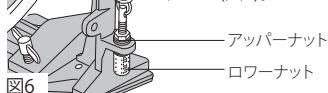


図6

フープクランプ

バスドラムのフープをはさみ、ウイングボルトを締めてペダルを固定します(図7)。

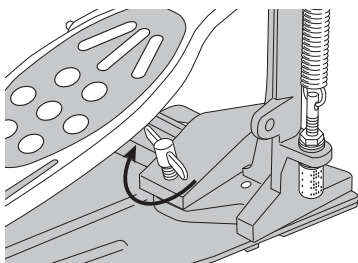


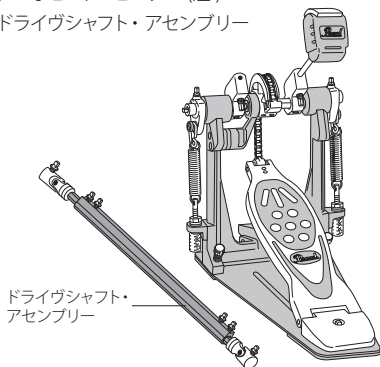
図7

P-120Pシングルペダルに

P-121TWツインペダルアセンブリー(別売)を接続すれば、ツインペダルが完成します。

P-121TWには下記のようなパーツが含まれています。

- * ツインペダル部
- * デュオビート・ピーター(注)
- * ドライヴシャフト・アセンブリー



(注) P-121TWに付属されているピーターは1本のみです。お手持ちのピーターと組み合わせてお使い下さい。

STEP 1

まず、お手持ちのP-120Pシングルペダルから、ピーター、スプリングアセンブリー、ピーターアングルカム、キーボルトをチューニングキーと付属の六角レンチを使って取り去ります(図8)。

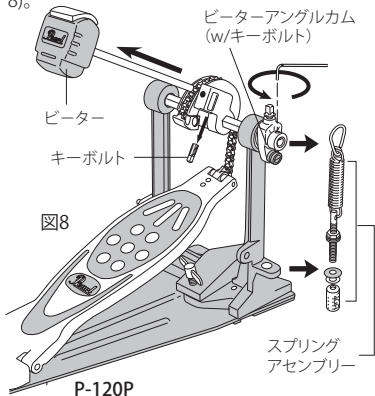


図8

STEP 2

スプリングやカムなどのパーツを取り去ったP-120Pの右端の突起部(接続部)に、付属のエンドスペーサーを差し込み、六角レンチで固定します。その際に、ベアリングがポストにきちんと収まり、左右にガタのないことを確認して下さい(図9,10)。

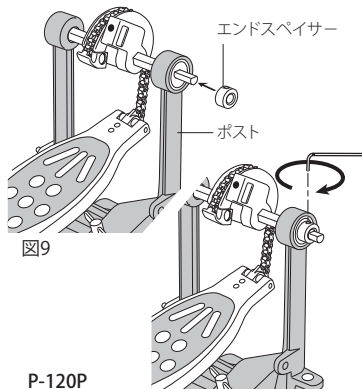


図9

図10

これで、P-120Pはツインペダルのサブペダルとして、ご使用出来ます。

P-120Pから取り外したピーターは P-121TWにお取り付け下さい。

また、P-120Pより取り外したスプリングアセンブリー、ピーターアングルカム及びキーボルトは大切に保管して下さい。

P-121TWと P-120Pの接続に関しては、下記説明文をご参照下さい。

***** セッティング

1.サブペダル (左側)の右の接続部にドライブシャフトジョイントを差し込み、キーボルトで固定します(図11)。

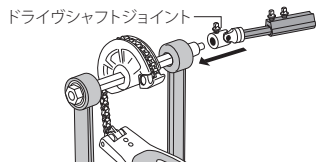


図11

2.メインペダル (右側)の左の接続部に、反対側のドライブシャフトジョイントを差し込み、キーボルトで固定します (図12)。

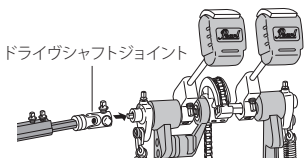


図12

3.ドライブシャフト・アセンブリーのキーボルトをゆるめ、六角シャフトをスライドさせることにより、左右のペダルの間隔を調整します。位置が決まったら、キーボルトを締めて固定します (図13)。

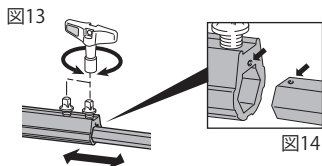


図14

※左右のペダルに接続するドライブシャフト・アセンブリーは、六角シャフトが中央のパイプにあらかじめ収納されていますが、はずしてしまった場合には、それぞれの接続ポイントにあわせて接続して下さい(図14)。

PS-85ペダルスタビライザー (別売)

サブペダル (P-120P) の安定度を高める為に、フープクランプ部に取り付けて使用します。

<注意!>

- ホーローネジがゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、チェーン、カムローラー、フットボードヒンジなどの可動部分には時おり注油 (グリス等) して下さい。
- ベアリングへの注油に、粘性の低い潤滑油のご使用はお控えください。

フロアプレート裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。その場合は湿らせた布等で拭き取して下さい。

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276 - 0034 千葉県八千代市八千代台西10 - 2 - 1
047 - 484 - 9111 (代)

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan 2004